

# 2020年5月10日（日）復活節第5主日

## 銀座教会 主日家庭礼拝

### 礼拝招詞

「これは主の御業

わたしたちの目には驚くべきこと。

今日こそ主の御業の日。今日を喜び祝い、喜び躍ろう。」

詩編118：23-24

### 主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇（あが）めさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧（かて）を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄とは限りなく汝（なんじ）のものなればなり。

アーメン

### 讃美歌 122 みどりもふかき 若葉のさと

### 聖書 使徒言行録5章1～11節

1 ところが、アナニアという男は、妻のサフィラと相談して土地を売り、2 妻も承知のうえで、代金をごまかし、その一部を持って来て使徒たちの足もとに置いた。3 すると、ペトロは言った。「アナニア、なぜ、あなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、土地の代金をごまかしたのか。4 売らないでおけば、あなたのものだったし、また、売っても、その代金は自分の思いどおりになったのではないか。どうして、こんなことをする気になったのか。あなたは人間を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」5 この言葉を聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた。そのことを耳にした人々は皆、非常に恐れた。6 若者たちが立ち上がって死体を包み、運び出して葬った。7 それから三時間ほどたって、アナニアの妻がこの出来事を知らずに入って来た。8 ペトロは彼女に話しかけた。「あなたたちは、あの土地をこれこれの値段で売ったのか。言いなさい。」彼女は、「はい、その値段です」と言った。9 ペトロは言った。「二人で示し合わせて、主の霊を試すとは、何としたことか。見なさい。あなたの夫を葬りに行った人たちが、もう入り口まで来ている。今度はあなたを担ぎ出すだろう。」10 すると、彼女はたちまちペトロの足もとに倒れ、息が絶えた。青年たちは入って来て、彼女の死んでいるのを見ると、運び出し、夫のそばに葬った。11 教会全体とこれを聞いた人は皆、非常に恐れた。

### 牧会祈祷

天の父なる神さま。主イエス・キリストの復活を覚えて、礼拝をささげる恵み、

心より感謝いたします。主の恵みにより息苦しさの中に平安と感謝が与えられて朝を迎えました。私たちを取り巻く環境が少しずつ、良くなりますように神さまの憐れみをお与えください。

学校で学ぶべき子どもたちがどのような中でも、学習意欲をもって、大切な目標に向かって前進出来ますようにお祈りいたします。教会学校の子どもたちとそこご家族を顧みてくださいますように主の恵みを豊かに注いでください。

聖書の中にも多くの災いや疫病に苦しむ神の民がいたことを知るものです。神さまは愛する者たちを疫病や病魔からもお守りくださるお方です。病の中にある人々を深く憐れんで触れてくださるお方です。神の愛を信じ、神の愛によって私たちを導いてください。私たちをキリストの愛から引き離そうとする全ての力からお守りください。地上のあらゆる力に勝る神の御力を深く受け入れ、神のみ力にすがりつつ、神の導きにすべてを委ねます。

主の日に銀座教会の礼拝堂に一同集まり、再会の喜びを分かち合えますように祈ります。医療従事者の方々が、命がけの救命を担っています。神さまの特別な恵みが与えられますようにお祈りいたします。

この祈り、主イエス・キリストの御名によって祈ります。

## 説 教・祈祷

「復活の命に生かされる教会」

高橋 潤

最初の教会が歩み出したばかりのことです。キリストの復活を信じる人々は、十字架の主イエスが復活されたことを伝えていました。どのようにして伝えていたのでしょうか。

最初の教会は、目に見えない主イエスが生きて共におられることを色々な仕方で表現していました。目に見えないけれど主イエスが一緒に生きておられることを話し合い、祈り合っていて喜んでいました。例えば私たちが持っている物を復活の主イエスに使ってもらえたらうれしいと思いました。そのようなうれしさをさらに広げて、心も思いも一つにして、復活の主イエスを喜ぶ生活を始めていました。これが最初の教会の姿でした。

ある日、「慰めの子」という意味のバルナバと呼ばれていたヨセフは、復活の主イエスとともに喜ぶために、自分の畑を売った代金を使徒たちの足もとに置きました。バルナバが献げた代金によって、復活の主のもとに集まっていた人々は、おのおのに必要なを満たすことが出来ました。

この姿を聖書は、「信じた人々の群れは心も思いも一つにし、すべてを共有していた」と語っています。大切な事は、すべてを共有していた人々の中に、復活の主がおられるということです。復活の主を信じて、復活の主がいつも隣りにいて見ておられることを共有していることです。復活の主と共に新しい命に生かされている姿がここに描かれています。

更に大切な事は、慰めの子バルナバは、使徒たちや誰かに要求されたり強要されて自分

の畑を売ったのではないということです。そうではなく、バルナバ自身が復活の主の命に生かされていることを感謝し、ここに大きな恵みを見いだした結果、喜んで自発的に自分の畑を売って、その代金を共有するによって、復活の主の命の輝きを見ていたのです。バルナバは命の輝きを与えられているのです。

初代教会の取り決めとして、不動産を所有している者は、売って献げなければならないという定めがあったのではありません。キリストの復活を信じる教会は、そのような定めを持つことはありません。バルナバの時代も、不動産の所有は認められていましたし、自己所有が罪であると考えていたのではありません。そうではなく、バルナバはじめ所有財産を献げたことは、それぞれの祈りと信仰の決断によって自発的に行われたことでした。現在の教会でも、教会の取り決めで、献金額を決められたり、不動産を売ることを薦めたり強いることはありません。バルナバは、復活の主がお与えになった、大きな恵みとして、真の命の輝きを見て、感謝の祈りをもって使徒たちの足下に自発的に置いたのです。

バルナバを見ていたアナニアとサフィラ夫婦は、バルナバのようになりたいと思いました。バルナバのまねをしてみんなから喜んでもらいたいと思いました。バルナバと同じように、自分たちの土地を売りその代金を献げしようと計画しました。しかし、その時、恐ろしいサタンが「土地を売った金額は誰も見ていない」とアナニアとサフィラ夫婦をそそのかしました。サタンにそそのかされた二人は、土地を売った代金の一部をお献げして、バルナバと同じようにすべてをお献げしますと嘘をついて使徒たちの足もとに置きました。

バルナバとアナニア夫婦は、どこがどう違うのでしょうか。バルナバは、お金ではなく目に見えない復活の主イエスを見ていました。目に見えないけれど一緒におられる復活の主イエスとともに喜んでいました。復活の主がお与えくださる命の輝きを見ていました。

しかし、アナニア夫婦は目に見えない復活の主イエスを見ていなかったのです。復活の主イエスを無視して、バルナバだけを見ていたのです。バルナバのまねをしました。しかし、最も大切な復活の命を見ていないのです。もはや死の支配の中で生きていたことがあらわになったのです。

アナニアとサフィラ夫婦の死は、私たちの命は死の支配から復活の主の支配へ大きな恵みによって変えられなければならないことを厳しく教え示しています。私たちの命は、私たちのものではなく復活の主イエスのもとにあることを大胆に告げ知らせているのです。私たちは復活の主によって与えられた命に真の輝きを見ることが出来るのです。

アナニアとサフィラは、死の支配に生きながら、復活の主を欺いたのです。私たちの浅い知恵で復活の主を欺き、だますことなどとうてい出来ないのです。アナニアとサフィラは、目に見えない復活の主イエスをごまかして、バルナバや使徒たちにほめてもらえると考えてしまいました。私たちの弱さと惨めさが浮き彫りにされています。

アナニアとサフィラは、「サタンに心を奪われ、聖霊を欺」いたのです。「人間を欺いたのではなく、神を欺いたのだ」「二人で示し合わせて、主の霊を試す」と指摘されています。これは、アナニアとサフィラだけの問題ではなく、現在、教会生活をしている私たちこそ、心で聴き、逃げてはならない言葉です。

現在こそ、目に見えないサタンに心奪われる時代に生かされていると思います。聖霊なる神を欺くことが分からない私たちです。誰かと示し合わせて主の霊を試すことがないとはいえません。この御言葉によって、私たちは、復活の主の命に生かされていることを深く受け止め、使徒信条「我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体によみがえり、永遠の生命を信ず」を心から告白するものとされなければなりません。主の復活を信じる信仰を与えられていることを心に刻み、歩みたいと願います。

教会は、目に見えない復活の主イエスがいつも私たちと一緒におられることを、覚える交わりです。アナニアとサフィラの命が、復活の主の御手の中にあることを通して、死の支配ではなく、復活の命を与えられた者として歩みましょう。

教会がしっかり見るべき命は、復活の主がお与えくださる輝く命です。目に見えないけれどいつも共にいてくださる復活の主イエスが一緒にいる交わりの中で輝いている命です。人の目をごまかしても、本当の喜びを主イエスと共に味わうことはできません。私たちは復活の主イエスの前で、見栄を張る必要はありません。隠れたことを見ておられる復活の主イエスとともに、心から喜ぶ交わりの中で生きるのが教会の交わりです。

祈 天の父なる神さま。イースターの日から4週間の間、守り導かれたことを感謝いたします。復活の主が私たちの交わりの中心におられ、輝く命をお示しくくださることを感謝いたします。この輝く命によって生きるものとしてください。神さまの大きな恵みによって新しい一週間をお導きください。主イエスの御名によって祈ります。 アーメン

祈 禱（各自、自由にお祈りください）

祈禱課題 新型コロナウイルスで苦しむ者へ癒しと慰めを  
医療従事者の隠れた労苦を聞いてくださいますように  
世界の教会が復活の命を信じて歩めますように  
礼拝堂に集まって礼拝をささげる日を

讃美歌 285 主よ、み手もて ひかせたまえ

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜うように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン